

患者さまへ

「救急外来に専従する薬剤師の業務内容及び業務量に関する調査」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

| | |
|---------------|--|
| 1 研究の対象 | 2023年9月～2024年2月に当院救急外来にて薬剤師の面談を受けられた方 |
| 2 研究目的・方法 | <p>救急外来にて使用される薬剤は多種多様のため、医薬品の適正使用や副作用の鑑別など、初療段階から薬剤師の積極的な関与が望まれています。救急外来に薬剤師を常駐配置している病院は少ないため、活動報告も少数です。</p> <p>そのため、この研究では、救急外来(emergency room:ER)型救急医療※における薬剤師の役割を明らかにすることを目的に、救急外来に常駐している薬剤師の業務内容及び業務量を調査します。</p> <p>※ER型救急医療:重症度・緊急度によらず全ての救急患者さまを受け入れる体制(当院ではER型救急医療を行っています)</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年5月予定)～2025年3月</p> |
| 3 情報の利用拒否 | <p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p> |
| 4 研究に用いる情報の種類 | 年齢、性別、病歴、医薬品の使用歴、救急外来受診時点の検査値、受診後の経過、薬剤師の医薬品情報提供内容および処方変更の有無、副作用等の発生状況 等 |
| 5 お問い合わせ先 | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 宮田 祐一 湘南鎌倉総合病院 薬剤部 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p> |

2024年06月03日作成(第1.1版)